



群馬県中小企業団体事務局長会 県内視察研修会

群馬県中小企業団体事務局長会（田部井俊勝会長、42会員）は、7月7日、県内視察研修会を開催した。

まず、東京電力パワーグリッド株式会社群馬総支社・給電所の見学を行った。

給電所は、電力供給の司令塔となる重要な施設で、24時間体制で稼働しており、電圧・電力の調整、事故対応・復旧調査、点検に伴う設備の切り離し等を行っている。



給電所での概要説明

次いで、上野村へ移動し、神流川発電所の視察を行った。

神流川発電所は、長野県側の上池の南相木ダム湖と群馬県側の下池の上野ダム湖との間で揚水発電

を行う、2県2水系にまたがる大規模な純揚水式発電所である。今後さらに3号機から6号機が完成し運転を開始すると、世界最大級の揚水式発電所となる大規模な地下施設である。

参加者は、巨大な地下空洞を興味深く見て回った。



地下500mの神流川発電所内での集合写真

◎視察研修会を終えて

局長会では、このような普段見られる機会のない施設等への視察研修会も行っております。見聞を広げる良い機会になっていると思います。



ぐんまエコアクション21倶楽部 第10回通常総会・研修会開催

ぐんまエコアクション21倶楽部（林整会長、94会員）は、7月7日、前橋市・ぐんま共済会議室において、第10回通常総会・研修会を開催した。

林会長が挨拶を行った後、議長に選任され、議案の審議に移った。事業報告・収支決算書、事業計画・収支予算等の各議案が満場一致で原案通り可決承認・決定された。任期満了に伴う役員改選も行い、会長には林会長を再選した（新役員は下記名簿のとおり）。

総会終了後、技術士事務所環境空間代表・飯田哲也氏を講師に招き、「環境をタシにして儲ける企業経営」をテーマに研修会を開催した。

飯田氏はまず、「日本の産業活動が環境に与える負荷を減らすためには、産業界の99・7%を占める中小企業が環境に配慮した経営に舵を切らなければならない」と環境経営の必要性を説いた。

続けて環境経営について、環境負荷を削減することを目的とした活動のみを指すのではないことを説明しつつ、「利便性の追求やコスト削減のための工夫の中には環境配慮につながるものが多々ある。こうした当たり前の行動は、見方

を変えると環境経営と呼べる。既にほとんどの中小企業が実施している。日常の事業活動と環境を関連付けて考えていくことで、自然と改善活動が始まる。こうした改善活動を継続的に回すことで、本来の意味での環境経営が始まる」と解説した。

さらに、「環境経営を行っているか否かで、対外的な印象に大きな差が生じる。これは、立派な付加価値である。自社の製品・サービスが持つ環境性能を見つけて、アピールすることで他社との差別化を図ることができる」と環境経営のメリットを説明した。

結びに、「事業活動の中には、環境と関わることが必ずある。それを見つけて出し、日常業務と環境活動を一体化することで、企業は必ず強くなる」と強調した。



飯田哲也氏

新役員名簿

職名	氏名	事業所名・役職
会長	林 整	(株)林環境 代表取締役
副会長	品川 洋一	ワイルカンパニー(株) 代表取締役
〃	佐羽 宏之	三立応用化工(株) 代表取締役
理事	高浦 孝好	(有)中央電機商会 代表取締役
〃	小川 克雄	(株)ミツバ環境分析リサーチ 代表取締役
〃	六本木 純一	群馬合金(株) 代表取締役
〃	林 司	(株)林製作所 専務取締役
〃	橋谷 晋治	ブリチストンタイヤ高崎販売(株) 代表取締役
監事	大橋 利一	(有)笠懸 代表取締役
〃	村上 康隆	村上産業(株) 代表取締役

◎ぐんまエコアクション21倶楽部に入会しませんか？
本倶楽部では、エコアクション21認証・登録事業者向けに環境経営の研修会や情報提供等を行っています。是非、ご入会下さい。